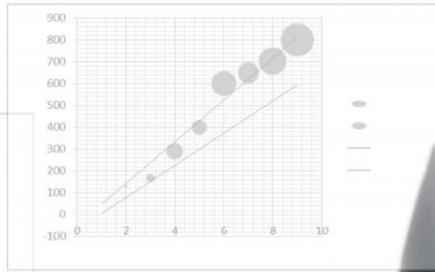
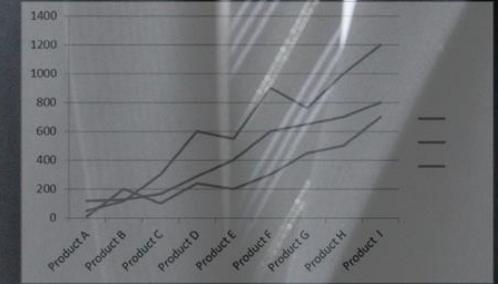


AIが常識を変えていく

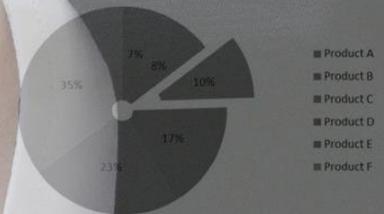
# D-bot



■ Product A ■ Product B ■ Product C ■ Product D ■ Product E  
■ Product F ■ Product G ■ Product H ■ Product I



費用  
対効果が  
桁違い!!



Product F

時給250円から始める  
エキスパート広報



24時間稼働!  
窓口を超えて  
回答まで導く

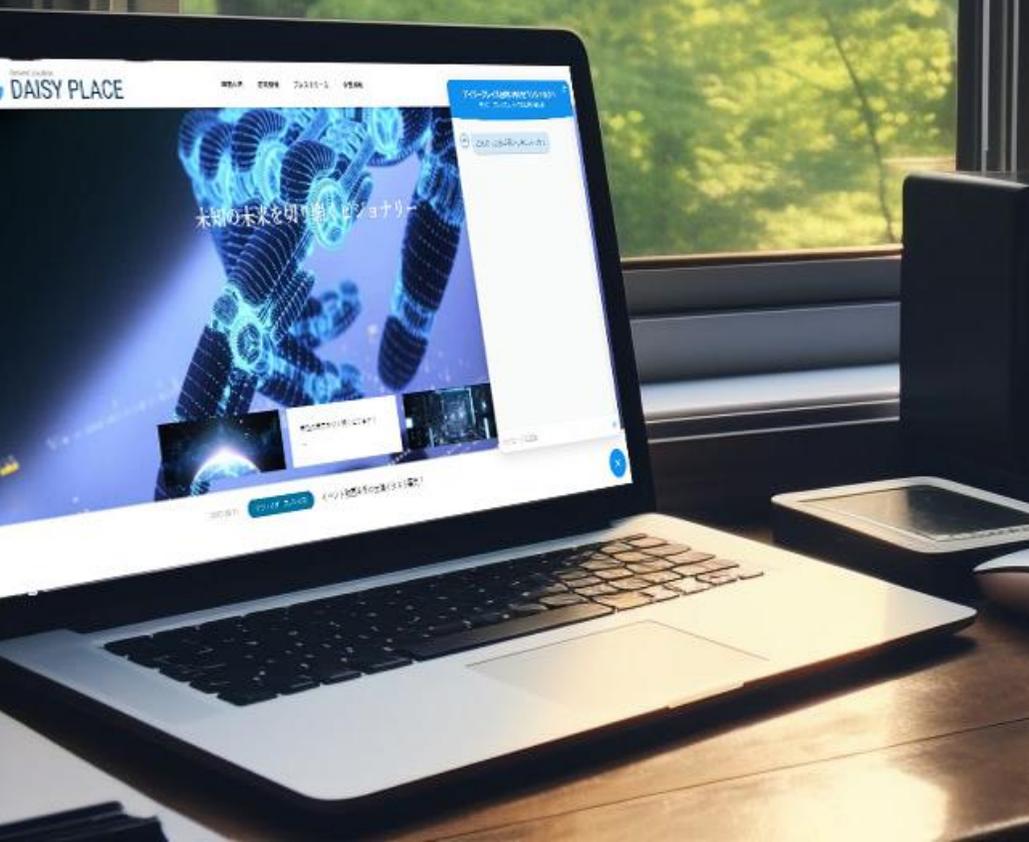
# D-bot



# HPを自動で学習する 次世代型AIチャットボット

ワードプレスに実装可能  
AIが自動で応えてくれる  
柔軟な対話シナリオで自然な会話を実現  
ユーザ体験が「検索」から「解説」に高度化！

追加資料読み込み可能 GPT4-Turbo対応



## 柔軟な対話シナリオ

顧客のウェブページの滞在率の圧倒的改善！知りたいことを調べる時代から聞く時代への進化！多種多様な質問に対して事前学習したAIが自然な会話で回答します。

## 従来のチャットボットの上位互換版

従来のチャットボットは「よくある質問」に対して予め用意した応えを返すものでした。これには大きな欠点が3つあります。

- よくある質問以外の回答はすべて問合せ
- よくある質問の回答でわからなかった部分を聞き返せない
- 「この回答は役に立ちましたか？」という問いに対して「顧客が役に立たない」と評価する可能性がある

特に3つ目が致命的になります。営業ではネガティブワードを使わなかったり、反復法で「役に立たない」という評価を下してしまうことです。AIでは「回答できなかった回答」をアップデートして「回答できるように」なります。

## Q&Aの用意が不要

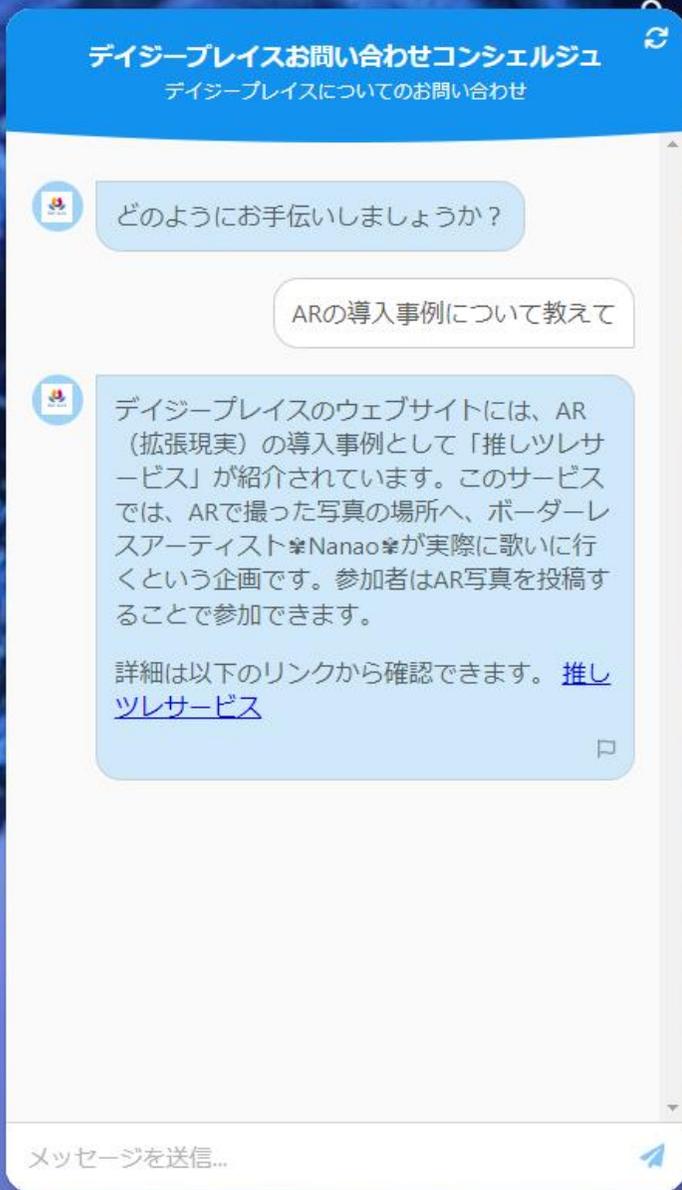
多くのチャットボットは顧客からの質問を想定したQ&Aを用意しますが、DAISY BOTIはHPや貴社の資料、パンフレットから学習し、回答します。マニュアルの学習まで可能です。

## 業種独自の情報を学習

エクセル・マニュアル・HP・パンフレットなど



優秀な問合せオペレーターがAIで誕生し、  
ユーザ体験が「検索」から「解説」に高度化！



## ウェブサイトにも常駐してナビゲートする

ウェブサイトに常駐して、いつでも呼び出せる。デスクトップだけでなく、スマートフォンまで対応！

## 窓口対応を超えてウェブで完結させる

窓口対応では、「お調べします」「担当へお繋ぎします」でしたが、AIは回答へと導いていきます。窓口を超えて顧客をお待たせしない対応へと変わっていきます。

例えば、ちょっとしたことを聞きたいときでも「電話の方が早い」となるわけですが、その一方、「お調べします」と言われて待つのが嫌いだったりします。それならAIに聞いてすぐ答えてくれるならずっとその方が早くて効率が高く、満足度も向上します。また、AIに対してなので「OOについておしえて」など、気を遣う必要もなく、心理的負担はぐっと下がります。

## 取扱説明書すら取込可能

カスタマーセンターでは、カテゴリ別に多くの想定設問を設け、それぞれのケースにあった回答をしていました。例えば、「ERROR2025」と表示されるとします。電話やチャット対応では、その「ERROR2025」を検索するところからスタートします。

これがAI対応すると、「ERROR2025について教えて」と顧客が入力してますので、突然回答からスタートです。「ERROR2025はフタがしっかりしていませんというエラーです」などと回答してくれます。

# HP閲覧者ストレスのゼロを目指す！

「定型文」での回答ではない



D-BOT



Chat-GPT

用意された回答ではなく、  
微妙なニュアンスまで汲み取り、  
顧客満足度を導く！

AIが人間を超えていく  
「お調べします」→「明確な回答へと導く」

## あっという間に日常に溶け込む先進技術

今ではLINEやPayPayを使ったことがないの方が珍しいですよ。こんなに浸透しているPayPayは2018年誕生で、すでに当たり前です。

少子高齢化で働き手どころか人口はどんどん減っていきます。市町村合併や廃校は珍しい話ではなくなりました。高齢化社会になると言われていますが、すでに高齢化社会になりました。2025年には65歳以上の高齢人口を15～64歳の2人で1人を支える現実が待っています。

そんな世の中では間違いなく「オートメーション化」が必要です。仕事が奪われるほど人はいません。むしろ人が足りないのです。

「そんな最新のサービスはウチにはいらぬ」という時代は、あっという間に過ぎていきます。

もしかしたら、2030年には、「まだ電話対応しているの？」という時代が変わっているかもしれません。

2020年代

### A Xの時代（オートメーション化）

2020年  
5G誕生

2022年  
NTT XR誕生

2022年  
ChatGPT誕生

2010年代

### D Xの時代（デジタル変革化）

2010年  
BITCOIN価値化

2011年  
LINE誕生

2013年  
メルカリ誕生

2018年  
PayPay誕生

2000年代

### ブロードバンドの時代

2001年  
Yahoo!BB誕生

2001年  
フレッツADSL誕生

2008年  
iPhone販売

1990年代

### ダイヤルアップの時代

1994年  
ダイヤルアップ誕生

1996年  
Yahoo!JAPAN誕生

1998年  
Windows98販売

1980年代

### JUNET～ドメインの時代

1985年  
NTT誕生

1985年  
Windows1.0販売

1989年  
.JPへ移行

1970年代

### パーソナルコンピューターの時代

1971年  
IntelCPU販売

1976年  
Apple I 販売

## お問い合わせの 対応時間の削減

対応時間が1日合計2時間～6時間なら  
1年間で110万円～340万円分の人件費

※社員を1時間働かせるときのコストを2500円として計算(時給だけでなく、社会保険負担費・交通費・労働保険などの社員を雇用する際に不可欠な費用を含む)。また、回答に必要な情報の準備やメール対応などの時間も含む。

対応時間が95%削減

※回答満足率95%で算出。人でもAIでも100%満足の結果は出せないが、回答が及ばない部分についてはアップデートで補填され100%に近づいていくと推測される。サービスとしてはベストエフォートとする。



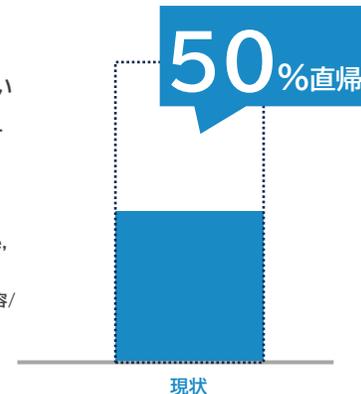
## ホームページまでたどり着いて諦める 直帰率約50%からの回復

ホームページまでたどり着いた顧客の  
約50%を逃している

直帰率とはホームページを開いて閉じてしまうこと。つまり、その時点で何らかのアクションを諦めてしまうということ。

目的があってホームページを開いたけど、何も見られていないのです。とてももったいない状況になっているか、もしくは電話に切替えた率となります。

※Bounce Rate Benchmarks: What's a Good Bounce Rate, Anyway? (<https://cxl.com/guides/bounce-rate/benchmarks/>)を参照。  
※業種別では、飲食65.62%、IT関連62.24%、ニュース57.93%、美容/健康55.86%、不動産44.50%など



# 導入効果

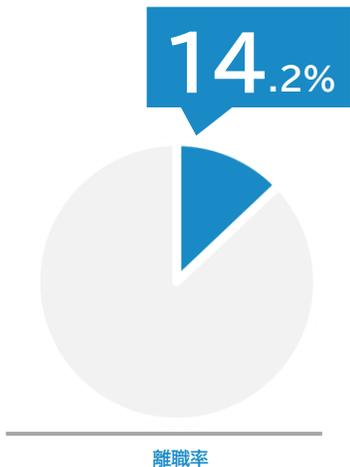
## 離職率14.2%時代へ突入 少子高齢化

人に頼らない時代へ突入

2020年厚労省発表の離職率が14.2%となりました。「円安」「物価高」「感染症」と、社会を取り巻く環境は大きく変わりました。

これに加え、1990年と比べ、労働適齢人口は1000万人以上減りました。

※2020年 厚労省発表の雇用動向調査に基づき、離職率14.2%  
※2020年 厚労省発表の人口の推移、人口構造の変化に基づき、1990年の15歳～64歳の人口8614万人に対して、2020年の15歳～64歳の人口7509万人であり、マイナス1100万人以上。

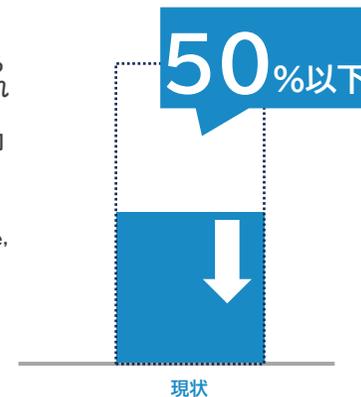


## 顧客満足度は50%以下 AIがホームページの案内役に！

直帰率で証明、既存のホームページの限界  
アシスタントが標準に

少子高齢化している現在、ホームページの見方がわからない方や億劫になっている方が増えてきています。それが開いた途端諦めている直帰率で現れています。せっかく素晴らしいホームページがあるなら、AIが案内することで活用できるはずです。

※直帰率を顧客満足と捉えている。  
※Bounce Rate Benchmarks: What's a Good Bounce Rate, Anyway? (<https://cxl.com/guides/bounce-rate/benchmarks/>)を参照。



## 従来のチャットボット

QA登録型

FAQの収集

よくある質問のピックアップ

フローチャートの作成

設問・回答を手入力

類義語・同ケースを登録

動作チェックなど・・・etc

完成

導入までのプロセス

## D-bot

AI

必要そうな書類を揃える



完成

アップデートも容易に可能です！

## 従来のチャットボット

QA登録型

## 機能比較

## D-bot

AI

言語ごとのシナリオ作成が必要	△	言語	○	多言語、20か国語OK
手作業	△	学習	○	データ取込学習型
FAQにないことは回答不可	△	HP	○	過去のプレスリリースまで学習
フローチャートで対応	○	対話	○	臨機応変に対応
手作業	△	アップデート	○	データ取込学習型
FAQの内容のみ	○	満足度	○	事業内容からFAQまで幅広く柔軟に対応

## D-bot サービスプラン



### スタンダードプラン

導入  
費用

350,000円(税抜)

月額  
費用

50,000円(税抜)

※月間5000回答分含む

### プレミアムプラン

導入  
費用

350,000円(税抜)～

月額  
費用

70,000円(税抜)

※導入補助に関する設定代行等  
※月間10000回答分含む

ご要望に応じて別プランもご相談ください。  
例)導入費用0円、月額費用7万円、3年契約など